



常磐会報

第50号
令和元年12月10日

発行所
福岡県行橋市南大橋4-5-1
京都高等学校常磐会
印刷・デザイン
(株)サラト



目次

ごあいさつ	2
令和元年度常磐会総会を終えて	3
進路概況	4
部活動活動状況	4
恩師からのおたより	5
定時制近況報告	5
卒業生からのおたより	6~7
「常磐会報発行協力金」協力者ご芳名	8

敬創業 校訓
實造和 訓

令和元年 新たな時代へ



常磐会会長 若山直樹
(高校22回生)

ごあいさつ

会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年も常磐会の季節がやってまいりました。特に本年度は新たな『令和』時代の幕開けを告げる令和元年度の常磐会総会です。多くの会員の皆様のご出席を願っています。

母校京都高校は大正6年、京都郡立京都高等女学校として開校し、爾来103年の星霜を刻みながら、大正、昭和、平成の時代を乗り越え、ますますの発展を続けています。母校の隆盛は常磐会会員皆の願いです。会員の皆様には、今後ともますますのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、本年度総会実行委員は高校39回・定時26回・高校52回・高校64回卒業の皆様です。江本庸時実行委員長のもと、しっかりと準備を進めてこられました。実行委員の皆様のご労苦に深い敬意を表したいと思います。誠にありがとうございました。特に総会誌広告協賛のお願いは大変なご苦労が

あったことと思います。あらためて感謝申し上げます。

また、本年度総会にあたり快くご協賛いただいた皆様、この経済情勢下、多大なご協力を賜り誠にありがとうございます。皆様のご厚意は本総会の運営、また、現役高校生への援助にと大切に使用させていただきます。

常磐会は本年末、毎年発行しております『常磐会報』の発行とともに、『令和元年度版・常磐会会員名簿』の発行を予定しております。会員名簿の完備は常磐会の大きな使命の一つです。『文化の京都』100年を超える歴史と伝統は、年々素晴らしい人材を世に出し続けています。これからも絶えることなく、『新たな時代』の新たな人材を生み出してくれることでしよう。会員の皆様とともに、新しい会員名簿の発行を喜びたいと思います。最後に母校京都高校のますますの発展と、本年度常磐会総会の盛會を祈念し、ごあいさつと致します。



校長 土田秀夫

ごあいさつ

あと数時間で新年号が発表されようとしている平成31年4月1日、私は京都高校に着任いたしました。まず最初の仕事として本校職員に、この歴史的な瞬間を見届けていただくようお願いいたしました。新年号は「令和」でした。「昭和」から「平成」に変わる瞬間も特別な想いで迎えた方も多いのではないかと思います。私自身もその想いを30年以上たつた今でもはつきりと覚えていた一人です。だからこそ「平成」から「令和」となる新年号発表の瞬間を先生方にはライブで見えて、感じて、「新年号」への決意を決めて欲しいと強く思っていました。その瞬間には事後のニュースでは、味わうことのできない現在進行形でしか感じることでできない臨場感があるからです。多くの京都生も、ライブで見えてくれたものと確信しています。もし、ライブで見られなかった生徒がいたとしても、ライブで見た先生方が必ずフォローしてくれます。

「令和を県下屈指の伝統校で迎える。」地区のトップ高としての気品に些か気後れしている自分があったのは事実です。そんな私を助けてくださったのは、京都高校若山直樹同窓会長と京都高校で同期であり、私が勤務していた小倉高校の上司であった大下一幸校長先生でした。大下校長先生は若山同窓会長にいち早くご挨拶させていたただく機会を作ってくださいました。そのおかげで、私はこれ以上ない京都高校での

スタートを切ることができました。お二人には、感謝してもきれない気持ちで一杯です。

さて、今年度全日制の京都生には真のリーダーとなって欲しく、「相手に対して思いやりを持って、自分の考えを伝える力」を身に付けるようお願いしています。

また、定時制の京都生には、まずは、「自身の健康管理をしっかり」と把握することをお大前提とし、その上で「自分の考えをわかりやすく相手に伝える力」を身に付けるようお願いしています。全日制、定時制と、若干伝え方はちがうものの、私が京都生に望むのは、コミュニケーション能力のスキルアップです。AI社会が目の前に迫っている今だからこそ、「人間力」「人間らしさ」が改めて重要視される時代、それが「令和ではないか」と感じています。

今年度常磐会の後輩たちは、「人間力」アップを目標に掲げ、勉強のみならず、部活動、生徒会活動、SGH等それぞれに応じた「自分らしさ」「個性の伸張」に努めています。どうぞ相変わらませぬご支援を宜しくお願いいたします。

結びにあたりまして、常磐同窓会の益々の隆盛を心より祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和元年度 常磐会総会を終えて

令和元年度常磐会総会実行委員長 江本 庸 時

皆様こんにちは。私は2019年度常磐会実行委員長を務めさせていただきます。高校39回生の江本庸時と申します。

今年度実行委員である、高校39回生、高校52回生、高校64回生、定時26回生を代表してご挨拶申し上げます。

常磐会は、創立以来卒業生3万人を超える、福岡県立京都高等学校及び福岡県立京都高等学校の同窓会であり、会員相互の連絡親睦、各自の知徳の向上発展、母校の名誉の発揚に寄与することを目的に活動しています。

実行委員会の主な役割は、記念誌の作成、常磐会総会・懇親会及び記念イベントの開催で、今年度は、『感謝・友情・進化』を合言葉に活動を行っています。この合言葉には、恩師・先輩方そして地域の皆様へ『感謝』し、実行委員としての再会を契機に『友情』を深め、後輩たちにバトンを繋ぎ更なる『進化』を託すという意味を込めています。

今年度は記念イベントとして、テレビや書籍等でも馴染みの明治大学教授の齋藤孝先生をお招きし、『人間関係をつくるコミュニケーション』をテーマに講演会を開催いたします。これからはAI（人工知能）の時代と言われていますが、アドラー心理学では『人間の悩みはすべて対人関係の悩み』と分析されています。齋藤孝先生のご講演は必ずやより良い人間関係構築の一助になると思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今年度も記念誌の作成に際しましては、常磐会会員の皆様、地域の皆様から400件を超える協賛広告並びに寄付金をいただきました。実行委員一同大変感謝しております。誠にありがとうございました。また、この常磐会総会誌を手に入れた皆様におかれましては、可能な限り協賛していただいた企業様やお店をご利用していただけると幸いです。

昨年11月に実行委員会を立ち上げた時点では、

新しい元号をはじめ、わからないことばかりでしたが、若山会長、高校38回生をはじめとする先輩方の温かいご指導・ご協力をいただきながら実行委員一同、力を合わせて頑張ってきました。仕事や家庭に忙しい中、また、遠方からも毎月1回の実行委員会に駆け付けてくれた実行委員の皆さん、本当にありがとうございました。ご負担をおかけし大変なことも多かったと思いますが、一人一人が自分のことのように主体的に取り組んでくれたことが何よりも嬉しかったです。心より感謝申し上げます。

40回生を中心とする次年度実行委員の皆さんにおかれましては、やる以上は『大変ながらも楽しんで、損して徳を積む気持ち』で頑張ってください。出来る限りのサポートはさせていただきます。

最後に、常磐会会員の皆様、地域の皆様の益々の発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



平成30年度 進路概況

進路指導主任 仲江 聖吾

合格者数絞込みの動き

文科省による定員厳格化の施策により、合格者の絞込みが進みました。特に定員規模の大きな大学においては、厳格化の基準が厳しくなっており、2007年では11.8%だった定員充足率(入学者数/入学定員)は、昨年度は10.1%でした。私立全体としても、昨年度は10.3%にまでダウンしています。

このことにより、とりあえず押さえおこうと思っていた大学に不合格になつてしまふというケースも起こっているようです。したがって、出願の際には、同じ学部・学科でも日程や教科数の違い、センターがあるかどうかなど、受験方式を変えて併願受験する生徒が増加しています。

情報系の人気 近年のAI(人工知能)やIoT(あらゆる機器がネットにつながる)

部活動活動状況

主な戦績 *平成30年4月~31年3月までの期間での県大会以上

《体育部》

陸上部

- 福岡県高等学校陸上競技対校選手権大会
県大会出場14名 男子8種競技(1名)、男子走高跳(1名)
男子砲丸投げ(1名)、男子400m(1名)
女子7種競技(1名)、女子3段跳(1名)
女子800m(1名)、女子走幅跳(1名)
女子1600mリレー(6名)
九州大会出場1名 女子7種競技(1名)
福岡県陸上競技国体選考会
県大会出場3名 女子A400mH(1名)
男子B砲丸投げ(1名) 大会新記録
男子Bやり投げ(1名)
福岡県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
県大会出場4名 男子砲丸投げ(1名)、男子やり投げ(1名)
女子400mH(1名)、女子7種競技(1名)

剣道部

- 福岡県高等学校剣道選手権大会 男子個人県大会出場(1名)

バドミントン部

- 福岡県高等学校バドミントン選手権大会 男子団体県大会出場
福岡県高等学校バドミントン新人大会 女子団体県大会出場

卓球部

- 福岡県高校総体卓球選手権大会 男子個人(1名)県大会出場

テニス部

- 福岡県高等学校テニス選手権大会 男子団体県大会出場

サッカー部

- 福岡県高校総体サッカー競技大会 県大会出場

空手部

- 福岡県高等学校新人大会 女子個人形(1名)県大会出場

水泳部

- 全九州高等学校選手権新人大会
九州大会出場1名 女子50mバタフライ、女子100m自由形

レスリング同好会

- 全九州高等学校レスリング新人大会
九州大会出場2名 男子60kg級(1名) ベスト16
男子65kg級(1名)

《文化部》

吹奏楽部

- 第63回北九州吹奏楽コンクール
金賞 県大会出場
福岡県アンサンブルコンテスト(木管八重奏)
金賞 県大会出場

写真部

- 福岡県高等学校総合文化祭写真部門 県入選(1名)準特選

囲碁・将棋部

- 第24回福岡県高文連将棋新人大会 女子個人(1名)全国大会出場

部員数

Table with 4 columns: 部活動名, 男子, 女子, 計. Rows include バレーボール, バスケットボール, 野球, テニス, 陸上, 柔道, 剣道, サッカー, バドミントン, バトン, ダンス, 水泳, 卓球, 空手道, レスリング同好会, 演劇, 華道, 琴曲, コーラス, 茶道, 写真, 囲碁・将棋, 書道, 放送, 煎茶, 文芸, 美術, 吹奏楽, 料理, 英語(ESS), SG, 科学同好会.

Summary table with 4 columns: 部活動, 合計, 男子, 女子, 計. Rows include 部活動生徒数, 生徒数, 加入率.

平成30年度 国公立大学合格者数(既卒生を含む)

Table with 3 columns: 設立, 大学, 学部, 人数. Rows include 東北, 筑波, 京都, 大阪, 島根, 広島, 山口, 九州, 九州工業, 福岡教育, 長崎, 佐賀, 熊本, 大分, 宮崎, 鹿児島, 福岡県立, 北九州市立, 大分県立看護科学, 長崎県立.

平成30年度私立大学合格者数

Table with 4 columns: 大学, 人数. Rows include 福岡, 西日本工業, 西南学院, 福岡工業, 九州産業, 九州女子, 梅光学院, 関西学院, 久留米, 中村学園, 西南女学院, 純真学園, 中央, 立命館, 九州国際, 九州栄養福祉, 同志社, 国際医療福祉, 創価, 日本, 九州保健福祉, 日本赤十字九州国際看護, 別府, 近畿, 大阪大谷, 熊本学園, 神奈川工科, 東亜, 山口学芸, 崇城, 長崎国際, 九州共立, 大阪体育, 神戸学院, 京都橘, 広島女学院, 甲南女子, 岡山理科, 皇學館, 広島国際, 久留米工業, 福岡女学院, 筑紫女学園, 明治, 駒澤, 日本女子体育, 京都産業, 日本体育, 長崎外国語, 日本文理, 産業医科, 安田女子, 秀明, 関西外国語, 東京工科, 法政, 東京理科, 立命館アジア太平洋, 同志社女子, 青山学院, 関西, 上級学校合格状況・就職状況, 平成30年度 現役 既卒 合計, 国立大学, 公立大学, 私立大学, 準大学(医療大学等), 私立短大, 各種学校, 事務 営業 技能 公務員 合計.

恩師からの おたより1

雑感

39回生 3年1組担任

元嶋 雅彦 先生

教員になってから退職までの間に九つの学校を経験しましたが、今でも校歌を歌うことができるのが母校を含めて三校しかありません。勤務年数が短かった、歌う機会が少なかったなど、いろいろな理由が考えられるのですが、思い出さうとして口ずさんでみた時にそのあまりの少なさに驚いたものでした。

若い頃、某祝賀会の締めとして、校歌斉唱の指揮を執るようにと上司からの指示がありました。ずんずんと教職員の円陣の真ん中に進み出て高らかに校歌の前奏を歌い始めた時、会場が異様な雰囲気になっていくのがわかりました。そうです。在籍していた学校の校歌にあらず、京都高校の校歌の前奏を大声で歌っていたのです。上司の呆気にとられた顔、同僚のしらけた雰囲気の中、これはまずいとただひたすら土下座をしたことが今でも思い起こされます。

そんな大好きな京都高校の思い出といえば、今は亡き金光学年での二年終了時、「おい、四月から男クラの担任ぞ」、その一言から始まった面白可笑しい一年間でした。自分自身が高校三年間のうちの二年間が男クラであったこともあり、その印象が軽く「いいですよ」と答えたのが奈落への転落の始まりでした。

HRに行くこと、教室は汚いし、整髪料とパンの臭いが入り混じった異様な臭気が漂っているし、優しい先生の授業は聞いてないし、毎日毎日誰かが悪さをするし。おかげでまだ若かった私は、迷惑をかけた先生に頭を下げに行くわ、保護者ときすぎずした状態になる。授業中の様子や隣の校舎から覗かざるを得なくなるわ。当時のことを思い出していると怒りがこみ上げてくるかと思いきや、豈図らんやおかしさと懐かしさでひと時幸せな気分になることができたものでした。ただ、京都高校の男クラがこの年限りで廃止され、以後二度と編成されることがなかったことは残念に思っています。

三十数年前の話ですが、今でも付き合っている生徒も何人かいます。他の生徒も各人がそれぞれの持ち場で頑張っていると聞いています。これからも元気で、この社会を盛り上げてくれればと切に願ひながら今回の筆を置くことにします。

恩師からの おたより2

私を鍛えてくれた京都高校

39回生 3年5組担任

今畑 博 先生

常磐会総会の開催、心よりお慶び申し上げます。特に三十九回生の皆さん、公私共々責任を持ち多忙な生活年齢の中、筆頭当番回生として尽力されていることに對し敬意を表します。

三十九回生の皆さんは、担任としては二回目の卒業生であり、次年度にはすでに他校に転任したこともあって、私にとっては思いが深い教え子となります。

京都高校は私の出陣としての初任校で、ここでの十年余りの教諭体験は常に新鮮で刺激的でもあり、且つすべてが勉強であったように思われます。若さ故の未熟さや甘え、言葉足らずの不遜な思い上がりなど、今思い起こしても汗顔の至りですが、教員としても人としても「ヒヨコ」状態の私を鍛え、成長の基盤を与えてくれたのが、学校の同僚の先生方であり生徒諸君であり京都高校そのものでした。先輩教師の方々の励みや叱責は教員としてだけでなく、仕事を待つ社会人としてのあり方を教えていただきました。生徒たちからは私に對する「先生」としての期待と、逆に「先生と生徒」ではない人間同士の関係を築きたいという想いを感じ、生徒との距離の取り方を学んでいったように思います。又、私の未熟さから来る指導への失望感や不満感に對し、時には素直に反省し、時にはそれを生徒自身のせいにして、これはその後の教員人生の中でも後悔、反省という形で私の頭の中に刻み込まれていきました。京都高校の「進学体制」そのものも私に重い課題を突き付けました。私の大学時代はいわば「政治の時代」で、それを体感してきた私にとつて本校の体制は最初は疑問もあつたし、生徒の将来、人生に係わる進路指導とはどうあるべきかという命題に当時大いに悩んだり逡巡したり葛藤を覚えたりもしました。しかし、卒業生と時折りあ合してその成長ぶりとか遅しとかに触れるにつれ、あるいは指導法もひとつの選択肢かなと思われるし、私自身の葛藤も少しは意味があつたのかなとどこかで救われる思いがします。

何かの用件で行橋の町を通る時、よく京都高校の正門の前で車を止め、「あの頃」を思い起こします。そして自分にとつての「教育の原点」がここにあつたことを確認し、明日からの活動の糧にしていきました。現在は直方の地で、わずかながらの農業と趣味の囲碁にいそしんでいます。

最後に皆様方のご活躍とご健勝を念じ、併せて京都高校、常磐会のご発展を祈念し筆を擱きたいと存じます。

恩師からの おたより3

退職までの二十四年間、京都高校で

39回生 3年8組担任

倉垣 清昭 先生

常磐会総会の開催、心よりお祝い申し上げます。三十六才で京都高校に来て、退職までの二十四年間があつたという間に終った気がします。学区拡大により京都高校に集中し、八時間までの課外。今まで経験したことがない。特に英語は習熟度別に分かれる。以前からやっていたらしく、すごいやり方だと思つた。

まずは、どんな学校かをじっくり見ようと思ひ、担任希望を出さなかつた。ところが、文化祭関係の文化部長に。今の文化祭の基礎になつたかな？

次は君達の四年先輩の担任に。当時、京都には珍しく元気の良い学年で、私は大好きでした。私自身も男女共学の時代なのに、中学高校六年間、男子クラスだったの。毎日、どの先生かが何かを言つて来ないかと待っているのです。ある女性の先生が「先生のクラスの男子は忍者です。帰りのホームルームで「今日はのおう」と言つただけで男子生徒が六、七人出て来た。私はゲンコツを軽く。三年生まで元気の良い学年で私の教員生活の中で一番楽しい忘れられない学年でした。

君等の学年は昨年八月十二日に同窓会をしましたね。おは様の初盆で出席出来なかつたけど、当日、今畑先生から電話があり、久しぶりに山本先生も、ところが六組のN君が、多分十六才の時だと思つたのだが「習つたことを覚えています。」「前置詞とは読んで字の通り、前に置く言葉である。何の前に置くとかと言えば、名詞、代名詞の前に置いて、その名詞、代名詞を前置詞の目的という。」電話で聞きながら驚くばかりでした。N君も先生をしていらっしゃるらしいが、N君ありがとう。八組のD君も、〇、〇、〇、〇。がひとつの時。掃除の時間になるとK君のホーキ遊び？女性Sさん、Tさんを中心によくまとまっていた。あるホームルームの時間に、私の趣味と遊びの話で、中国の遊び？単車を古い順六台書いたかな。今、乗つているのが一九六五年のカワサキメグロK2500。一九七七年のBMW R6007。今月二十五日で五十才になる黄色いダットサンKP510。元気に走っている。

母と母の妹二人の卒業した京都高等女学校。何か縁があつたのでしょうか。退職近くで三回の異動内示。母が止めてくれたのかな？

君達の四年下の学年の時は、十一クラス、五百十一人。学年主任で心労が重なり大変でした。

長い京都高校での生活、多くの先生方、事務職の方、本当にありがとございました。諸君達も元気で頑張ってください。

定時制 近況報告

まず、平成三十年度の生徒の進路状況を紹介します。三十年度は、四年修了生が十九名卒業しました。在学中からの仕事を継続している生徒もいますが、新規就職者が九名、進学者が六名でした。

次に、平成三十年度の特徴ある行事・活動を紹介します。九月に行われた生活体験発表北九州地区大会に本校からは四年生一名、三年生一名が出場しました。今までの経験を発表し、努力賞を受賞しました。

文化部関係では、四月に行われた北九州芸術祭(書道部門)において、三年生四名が特選、五名が入選となりました。また、行橋市人権週間啓発作品(書道の部)では、二年生一名が入選となりました。高文連書道部門授業作品展においても三年生七名が入選しました。

体育部関係では、高体連定通部北部ブロック卓球大会に三年生男子が出場し、県大会に出場しました。また秋季大会にも三年生一名、二年生一名男子が出場しました。それぞれ優勝・準優勝し県大会に出場しました。

本年度は、新入生十四名を迎え、全校六十名の生徒数でスタートしました。

生徒たちは、仕事に勉学に全力で励んでいます。



卒業生からの
おたより 1



感謝

君を友に 私と共に

高校39回生 渡邊 哲也

高校を卒業してすぐに平成になり、今年は今と変わった新しい時代に39回生として寄稿させて頂くことを大変光栄に思います。

この機会に卒業してから32年間一度も見ることもなく卒業アルバムや写真の数々をみて大変懐かしく思いました。高校時代は、課外授業やテスト勉強、宿題に追われて毎日

が分刻みのような生活でした。特に、自分は電車通学であったため、朝6時半に親から起こされ、辞書が詰まった重いカバンを背負い、7時過ぎの電車に乗り、行橋駅から25分歩き、やっと校舎にたどり着くという生活を3年間

しました。今思えば体力、気力が鍛えられたような気がします。そんな3年間を乗り越えられたのは、そこにいつも友達がいってふざけた話をしたり、文化祭、運動会やクラスマッチで仲間と勝つために作戦を立てたりした楽しい時間があったからだと思えます。みやこ体操や緑カバンや緑ジャージもすべて懐かし

く、諸先生にも大変感謝しています。高校を卒業して福岡の大学に進学しました。今までと全く違う環境で勉強はほどほどにしてサークル活動、バイト、さまざまなスポーツに没頭する中で

短期留学する機会があり英語力を試すチャンスだと思いましたが、参加しませんでした。ところが高校で得意だった英語が全く通じず、かなりの衝撃を



受けました。これをチャンスとして前向きにとらえ、大学中に英語を猛勉強して、卒業後は国内旅行会社や留学専門の旅行会社に就職することが出来ました。旅行会社では、お客様に夢を与えるサービスであるをモットーに頑張りました。海外に行ったり来たりと苦労もありましたが非常に楽しかったです。現在は、親の仕事の関係で旅行会社から児童福祉の仕事に転職し地元へ帰ることになり、児童福祉の管理職としていろいろな環境の児童の支援をしています。旅行サービスから福祉サービスという畑違いの業種へ飛び込むことになりましたが、高校時代に培った体力、気力で楽しく仕事をしています。今年、メジャーリーガーのイチロー選手が引退して、会見で自分なりに頑張ったことを継続出来たから45歳までプロでやってこれたと言いましたが、継続にはやる気、根気、元気が必要だと思っています。自分がPTA役員やボランティア団体、地域の福祉にも継続して活躍出来ているのは、今考えればこれも高校時代に熱心に指導頂いた諸先生や素晴らしい仲間と京都高校で過ごせたからこそだと思います。AKB48の365日の紙飛行機の曲の歌詞に『人生は紙飛行機 距離を競うよりどう飛んだか どこを飛んだか それが一番大切なんだ』とあります。時間を大切にすることを無かった高校時代から30年余り経ち、改めて人生について考え感銘を受けました。50歳を過ぎましたが、いくつになっても大志も持って青春は出来ると思ってこれからもいろいろなことに果敢にチャレンジしていきたいと思っています。結びに常磐会の皆様へ感謝するとともに京都高校の益々のご発展と同窓生のご健勝とご多幸を祈念いたします。

卒業生からの
おたより 2



今もなお続く、
高校生活

高校39回生 長野 裕二



大人になり、高校時代の思い出を聞かれると、「文武両道、充実した高校生活でした」と答える人が多い。しかし、私にとつての高校時代は、スポーツや勉強、学校行事など、どれもとても達成感や充実感を抱くことのできない、情けない思いを抱きながら終えた時代であった。卒業式を終え、家に帰り、学生服をタンスにしまおうとした瞬間、何とも言えない「怒り」に包まれ、学生服を畳に叩きつけたことを鮮明に覚えていて。その「怒り」の原因は、間違いない「自分自身」にある。

私は、才に恵まれていないわけではない。京都に合格するために人一倍、懸命に勉強し、憧れの京都高校に合格することができた。しかし、いざ高校生活が始まると、課題や授業模試など、多忙の毎日の中、好きな柔道も中途半端な形でしか行えず、学校行事においても受け身の姿勢であった。また、自分の勉強スタイルを確立できていない者にとつて大学入試突破は高い壁であり、人生で初の挫折を味わうことになる。そのような一連の流れの中で、自分への不甲斐なさや、もう一度高校時代をやり直したい無念の思いなど色々な感情が混ざつての「怒り」だったといえる。

しかしそのような高校生活にあつて、まっすぐに成長できたのは恩師たちのおかげである。間違いない先生方は、厳しく、熱く、心優しい先生方ばかりであった。1年次担任の金光先生、2・3年次担任の天下先生には言葉では言い尽くせないほどの恩を感じている。金光先生は、会合で会うたびに、教師なりたての私にいつも温かい言葉をかけて下さり、あるべき教師の姿を導いて下さった。天下先生には、いつも目をかけていただき、何かあれば必ず言葉をかけていただいた。今もお心温かく見守っていただいている。今畑先生や元嶋先生と同じ職場で教鞭をとる好機に恵まれ、その思い出は一生忘れることができない。

今、私は、27回目の高校生活を送っている。果たしえなかった高校生活を取り戻すべく、現役の生徒以上に勉強に部活動に情熱を傾けている。学生服を脱ぎ捨てた暗い過去を消すことはできない。しかし、生徒たちが自分と同じような後悔をしないよう、自分の思いを語り、背中を見せることはできると信じている。

私の好きな映画の一つに「愛と青春の旅立ち」がある。リチャード・ギア演じるザックは士官学校に入学する。士官学校では教官のフォーリー軍曹が士官候補生を心身両立で鍛えあげ徹底的に教育するシーンがある。ザックもその試練に耐え、なんとか卒業式を迎える。卒業式の日、ザックと軍曹が最後の言葉を交わした後、軍曹がザックに敬礼をするシーンがある。つまり卒業すれば立場が逆転するわけである。そのことはわかっていて徹底的にしごき、たくましく士官に成長させるべく愛の鞭を振っている軍曹の思いに共感する。

卒業していく生徒たちに敬礼ができるよう、今日も負けずに教鞭をとる。

卒業していく生徒たちに敬礼ができるよう、今日も負けずに教鞭をとる。

卒業生からの
おたより 3



イラストレーターという仕事。

高校39年生 網中いづる (旧姓 豊田)

ひさしぶりに高校時代の記憶の断片をぼつぼつと拾う作業は「面倒くさいなあ」「ああ青くさくて恥ずかしいなあ」の連続であり、そこをなんとか我慢しながら眼を閉じて見えてくる光景は、教室の窓が切り取る木々や連なる部室の屋根、先生のよく通る声で読み上げる古文の一節、少し暗い廊下と昼休みの騒めく教室。なんだか眩しい。

ぎゅうぎゅうに窮屈な校則には不満だらけで早く抜け出したかったけれど、一瞬の貴重な青春の時間だということも十分にわかっていたから精一杯楽しんでた。田舎の高校生にも世の中の陽気なバブル感や伝わって明るかったと思う。マドンナが好きだ、クイーン最高、ライブエイドだ、おニャン子クラブだ、ユーミンだ、いやNOKKOだ、尾崎豊だ等、なんだかんだと喋りながら帰ったものだ。緑色のダサイバッグをぶら下げながら。

部活は演劇部(兼美術部)。いま思えばこちらも都内の小劇場ブームのさざ波くらいが届いていたようで、教室でのぼんやりした自分が嘘のように、授業が終わった途端に熱く稽古に打ち込んだ。

将来のことは何にも考えてなかったけど、流行の音楽を聴き、オリープを読み、東京の大都会やパリのリゼエヌに憧れ、恋の話をして、キラキラしたものを探していた。そんな高校生がその後は美大に進学、裏原宿と言われた渋谷区神宮前でアパレルの仕事に就いた後、フリーランスのイラストレーターに。

イラストレーターの仕事といっても様々なで、わたしはエディトリアルをメインに書籍装画や挿絵、絵本、雑誌、教科書、CDジャケットのほか、企業広告、パッケージ、ポスター、



百貨店のディスプレイ、グッズ、テキスタイルなど幅広く関わり、都内が主だが個展も定期的に行う。大学でも教えている。

会社勤めではないので所属する苦労はないが、描き続けていくのはラクではなく、伸びやかなタッチと評されるわりにシリアスな動きづぶり。意外に思われるのは、絵が上手いこと以上にコミュニケーション力が必要ということ。そして常に進化したいという気持ちと努力が大切。これでいいやと満足することなく貪欲でありたい。

いま演出家の串田美さんとポスター仕事のやり取りが続いているが、演劇少女時代の自分に教えてあげたいなと思った。

網中いづるプロフィール

- 2002年にイラストレーターとして独立。
- 2003年TIS公募大賞、2007年講談社出版文化賞。
- 2019年ワコール70周年記念カレンダーを手がける。

卒業生からの
おたより 4



北の地から

高校52年生 山崎 優子 (旧姓 藤田)

京都高校を卒業してもうすぐ20年が経つ、という事実が驚きつつ、当番回生として直接現地で手伝うことが叶わぬ為、こちらに寄稿させて頂いたことになりました。

私は今、ロシア連邦サハリン州の州都ウジノサハリンスタという場所に主人の駐在の為、2人の子供と共に居住しております。日本では「樺太」と呼んだほうが通りはいいかもしれませんが。そう、北海道の真上にあるあの細長い島です。1年のうち半分は雪が降っており、真冬にはマイナス30℃を記録することも稀ではありません。

このサハリンには現在も日本統治時代の遺構があちこちにあり、その歩んできた歴史は複雑で地理上北方領土も近いため、またロシア人だけでなく韓国・朝鮮系の人も多く、日本に対して良い感情を持った人ばかりではありません。デモや集会に巻き込まれないよう領事館から注意喚起があるのも日常茶飯事です。高校時代、世界史の時間に教科書の中の過去の出来事だと思っていた事柄と、日常生活が隣り合わせと言うのも中々面白いものです。

住居は安全が確保された駐在員居住区の中にあり、共通使用言語は英語です。子供達はその中に併設されているインターナショナルスクールの通っており、長女のクラスには12カ国、次女のクラスには10カ国とそれぞれ違う国籍を持ったクラスメイトがいます。肌・髪・目の色、生活習慣も宗教も母語もそれぞれ全く異なっていた子供たちが共に授業を受けている姿は壮観です。全員駐在員なので、出合いや

別れが頻繁にあるのもこの地の特徴でしょうか。See you somewhere in the world. という言葉を子供達が使うのも素敵だな、とも思います。

国外に出ると、今まで自分のいた世界がいかに狭かったか、と驚くことをいつも思い知らされます。ただ、その狭い世界はいつ戻っても温かく自分を受け入れてくれるという安心感と郷愁を与えてくれます。私にとっては京都高校生時代がまさにそれに当たり、卒業から何十年経とうと、ひとたび再会すればいつも昔の気持ちに戻れる友人も、恩師も、3年間の思い出も宝物です。

現役京都生の皆さん、今は必要なのか？と思っている勉強も、無駄に過ぎたと思っている時間ですら全て未来に繋がります。とにかくすべての時間を楽しんで！(英語にはある日急に必要になるかもしれないのでちよつぱり頑張ってください。)

最後になりましたが、常磐会の成功と、京都高校の益々の発展を北の地からお祈り申し上げます。



令和元年12月10日発行

「常磐会報発行協力金」協力者ご芳名

平成30年度常磐会報発行にあたってご協力いただいた皆さんのお名前です。ご協力誠にありがとうございました。今後とも引き続き全会員へ常磐会報が発送できますように何卒よろしくお願ひ申し上げます。

福岡県立京都高等学校同窓会 常磐会

令和元年10月31日現在 敬称は略させていただきます

Table listing names of donors and their graduation years, organized in columns. Includes names like 相原孝行, 品川(品川)洋子, 岡田(若菜)哲代, etc.